

ジェンダー視点から見る 過去・現在・未来

女性と図書館

明治期から現在まで 図書館は女性にどんなサービス、資料提供を行ったのでしょうか。婦人閲覧室、男女共同参画センター、女性情報ライブラリー、国立女性教育会館（NWEC、ヌエック）など 女性情報の提供について、ジェンダー問題を可視化し、これからの課題について一緒に考えましょう。



著者 青木玲子 赤瀬美穂

5/26 (日) 13:30~15:30

講師 青木玲子さん

●講師プロフィール●

1945年北海道生まれ。東京都婦人情報センター・東京ウィメンズプラザ情報担当係主任専門員（1984～2001年）、越谷市男女共同参画支援センター所長（2001～2006年）、国立女性教育会館情報課客員研究員（2009～2020年）、東海ジェンダー研究所理事（2018年～現在）

【主要論文】「図書館とSDGs：ジェンダー視点をターゲットとして」『専門図書館』（306）2021年 ほか。

会場：越谷市市民活動支援センター
定員：30名（申込み順）
対象：テーマに関心のある方
参加費：500円

○申込み・問合せ○

認定特定非営利活動法人 男女共同参画 こしがやともろう

Eメール：koshigayatomorou.npofarenn@gmail.com

TEL:080-3246-3540(駒崎)